

研究課題名	慢性腎臓病透析患者におけるミネラル異常・代謝内分泌異常と臨床アウトカムとの関連：ODCS 研究の既存情報・試料を用いた観察研究(ODCS-21)
研究の意義・目的	本研究の目的は、透析患者におけるミネラル異常・代謝内分泌関連指標が臨床アウトカムと関連するという仮説を多角的に検証することにあります。ここで、臨床アウトカムとは、総死亡、心血管関連アウトカム（心血管イベント、心血管イベント後の死亡）、感染症関連アウトカム（感染症入院、感染症入院後の死亡）、および高齢者関連アウトカム[認知機能低下、日常生活活動度（ADL）低下、フレイル（虚弱・脆弱）]を指します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2028 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	大阪府下の以下の透析施設の患者さんで、2012 年 6 月に ODCS 研究（下記）にご登録いただいた 1696 人の透析患者さんが対象になります：井上病院、大野記念病院、明治橋病院、南大阪病院、阪和記念病院、岡田クリニック、小尾クリニック、淀井病院、池田病院、小野内科医院、永山クリニック、佐々木内科クリニック、野崎クリニック（現 平野白鷺クリニック）、河村クリニック、マリエ医院、咲花病院、堺温心会病院
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた研究（「透析患者における認知障害の実態と心血管疾患・日常生活活動度との関連（Osaka Dialysis Complication Study, ODCS）」承認番号 2219）でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：血液（凍結保存血清） 診療情報等：患者基本情報、透析条件、身体所見、定期処方、既往歴、臨床検査（血液検査）、日常生活活動度（ADL）、認知機能、生活の質（QOL）、睡眠調査、栄養調査、筋力、体組成。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科（血管病態制御学、代謝内分泌病態内科学、腎臓病態内科学）のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科（血管病態制御学、代謝内分泌病態内科学、腎臓病態内科学）のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学 研究責任者 庄司哲雄
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 （担当者氏名）仲谷 慎也 電話番号：(06) 6645—3806 メールアドレス： nakatani-s@omu.ac.jp